

つながりの中でくらす
望まれた人として生きる
自分らしく生きていく



No. 55

2018年1月発行

昨年はお世話になりありがとうございました。

本年もどうぞよろしく願い申し上げます。



昨年、旭区地域自立支援協議会子ども部会で「就学進学なんでも相談会」を開催しました。若い障害児の保護者の話を聴きながら、障害児の親の辛さはこの20年変わっていないこと、ただ、悩みの中身がこの20年で変わったことに気づきました。かつて、障害児の親たちは、わが子が就学で差別されることへの辛さを抱えていました。いま、差別されていることが見えにくくなり、特別支援教育という枠組みの中で、「我が子にとって良い選択」はどれなのかという悩みが変わっているように感じます。

障害児の母たちと「わ・はは」という小さな冊子を発行しています。障害児の父や母の原稿からなるささやかな文集です。1996年創刊で、現在は年に一回の発行です。先月発行した第28号のテーマは「ありのまま」でした。「わ・はは」を発行している障害児の母たちにとって「ありのまま」という言葉は馴染みの言葉です。親が子どものありのままを受け容れ、周りの人たちが子どもをありのままに受け容れてくれることを願う。けれど今、「ありのまま」が言葉だけのものになってきているように感じています。

「ありのまま」は、自尊感情とつながっていると思います。自尊感情を育むために、スモールステップでできることを増やして自信がもてるようにするという意見を聞くことがあります。スモールステップという方法は良いと思いますが、もし、頑張ってもできない自分に気づいた時、どう乗り越えていくのでしょうか？自分をどう受け容れるのでしょうか？できる・できないにこだわる限り、自尊感情を育てることは難しいと思います。ありのままの自分を受け容れてくれる人がいて、ありのままの自分を受け容れることができ、そうして自尊感情が生まれるのだと思います。

障害をもつ子どもを、障害をもたない子どもに近づくように育てるべきだと思わせている社会、できることを増やすのが目的のような特別支援教育、そんな環境が親たちを苦しめているのではないかと思います。イノチに優劣はなく、イノチの存在意義を作る必要はないのです。娘を他の子どもと比べることなく、周囲の目を気にすることなく育てるようになって、私は子育てが楽しくなりました。ありのままのあなたがかけがえないのだということ、あなたが今ココに居るということ、その存在自体が尊いのだということ。それが出発点だということを私は、重度の障害をもって生まれた娘に教えられました。

(地域生活サポートネットほうぷ 向井裕子)

奈良公園に行こう

日時：2017年10月21日（土）10：00～16：30

会場：地域生活サポートネットほうぷ～奈良公園

参加者：子ども9名、学生ボランティア8名

地下鉄と近鉄電車を使い継いで、奈良に行きました。朝からあいにくの雨。天気予報も一日雨。雨の中、傘をさしたりカッパを着たりして歩くのも勉強になると言いながら出発しました。お昼ご飯を食べる時も雨で、奈良県庁の回廊の下にブルーシートを敷いて食べました。奈良公園の芝生の上で食べたかったです。雨が強くなり、鹿と戯れて、興福寺の五重塔を眺めて、近鉄奈良駅の近くの商店街でお土産を買って帰路につきました。

<ボランティアの感想から>

- ・雨で足元がわるく、なおかつ寒さもあり行きで少々つかれてしまいましたが、久しぶりの奈良は楽しかったです。鹿に何回か噛まれて痛い思いをしました。次回は晴れてほしいです……。
- ・今日は、奈良に電車で行きました。担当は、A君でした。初めの頃は、とても楽しそうにしていたのですが、途中から機嫌が悪くなってしまい、帰りたいたいと言いついてしまったので、心配でした。しかし、お昼ご飯を食べた後からは、シカを見つけてとても楽しそうにしてくれていました。結局シカが怖かったようで、最後まで、近づくことが出来ませんでした。おみやげにシカの人形を買っていたので楽しかったのかなと思い、良かったです。傘を床においていたのを忘れて、次の行動に移ってしまい、とても焦ったこともあったので、そこは反省したいと思います。
- ・今回は初めてBちゃんとペアだったのですが車イス用の切符の買い方が分からず、少しとまどいました。Bちゃんが、もうすぐ誕生日で、家族で外食に行くのを楽しそうに話しているのがとても印象的でした。雨の中の奈良公園はとても良い経験になりました。
- ・初めてほうぷの活動に参加して不安だったけど、子どもたちがはなしてくれたりして楽しく活動することができました。雨だったので公園で散歩できるか心配だったけど、鹿ともふれあうことができたので良い思い出になりました。活動代表にもなったので、これから子どもたちとの距離を縮められるように頑張っていきたいです。



旭区ふれあい広場

日 時：2017年11月18日（土） 11：00～14：00

会 場：旭区社会福祉協議会

参加者：子ども9名、学生ボランティア9名

毎年恒例の旭区ふれあい広場。例年は旭区民センターで開催されるのですが、今年は旭区社会福祉協議会の1階から3階までと、裏の駐車場を使って開催されました。私たちの売り場は、駐車場の一角でした。奈良遠足に続き、雨でした。昼頃に、雨は上がりましたが、気温が低く、外での販売は本当に寒くて、予定の時間より早く店じまいをさせていただきました。天候が悪かったからか、館内だけを回って裏の駐車場に気づかずに帰られた方も多かったのか、客足が少なかったです。小さな子どもを連れた親子連れをターゲットに小さなかわいい髪ゴムも販売したのですが、売れ行きはいま一つでした。

地域の方々との交流も目的の一つなので、子どもたちは順番に売り子をし、他のブースをめぐり、寒くても元気に楽しんでいました。豚汁であったまったり、たこせんべいにかじりついたり、クッキーをほおぼったりして、お腹も満たされました。

<ボランティアの感想から>

- ・初めてのほうぶで最初はしゃべれずにいましたが、時間が経過するにつれてしゃべれるようになってよかったです。店番の時寒かった！子どもは寒さに強いなと感じた。また来る時は運動出来る服できて子どもたちと外で遊びたいと思います。
- ・今日は誰かの担当ではなく、フリーで全体を見ていました。雨が降っていて、お客さんが少ない状況の中での販売でしたが、みんな頑張っていたと思います。A君が、自分から「手売り販売をしたい」と言い、ポップを作ってもらい、歩き回りながら呼びかけている
- ・のが印象的でした。最近、子どもとの距離が近くなりすぎていて難しいなと思っていましたが、今回全体を見る係で、少し距離をとって子どもと接しましたが、あらためて子どもとの距離の取り方が難しいなと思いました。



放課後等デイサービス「楽童ほうぶ」報告

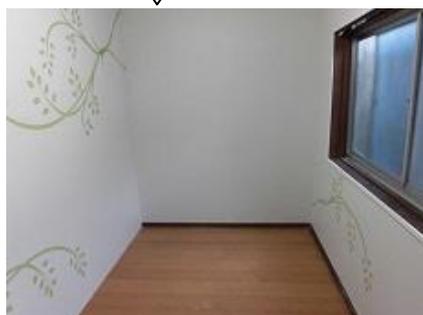
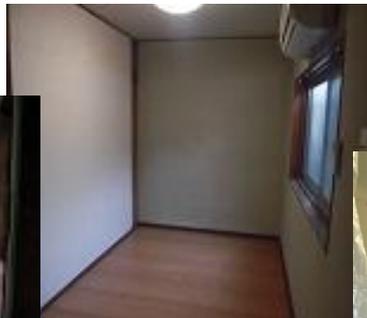
11月に「自分研究」を開始しました。初めての取り組みなので、高校生2人と中学3年生1人の男子3人だけで、3回のコースで行いました。楽童ほうぶで一緒に過ごしてきた3人なので、関係作りは特に必要なく、「自己紹介すごろく」でアイスブレイクをして開始しました。自分の紹介データを作成したり、こんな時はどうする？と意見交換をしたり、自分がどんなタイプかを自分で考えた後で友だちとお互いのことを言い合ったりしました。

最後に、自分の変えたいところを見つけ、どうすれば変えられるのかを3人で考え意見交換をしました。3人とも、将来の夢を伝えてくれて、すごいなあと思いました。笑いの中で、自分の苦手なことを言うことができたり、自分の変えたいところを書き出せたり、まずは自分を見つめる時間になったことは良かったと思います。また、来年、自分がどんなふうに変化したか、振り返りたいと思います。子どもの思いを大切に、自分が大切な存在と思えるような取り組みを進めていきたいと思っています。

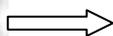
12月は、クリスマス会をしたり、大掃除をしたりしました。そして、大阪工業大学の学生さんの卒業制作によって相談室の改装をしました。学生さんがデザインをし、株式会社エムアンドエー様の全面的なご支援を頂き、株式会社たくみ工芸様、株式会社商美様、篠原工務店様のご協力により改装工事が行われました。心よりお礼申し上げます。寒々とした相談室が、温かみのある落ち着いた雰囲気になりました。相談に使用しない時は、図書室として使用するようになります。また、プレイルームの棚もきれいになり、ハンモックを設置しました。早速、ユラユラとくつろいだり心を落ち着かせたり、子どもの居場所となっています。

☆相談室☆

Before



☆プレイルーム☆



☆ハンモック☆

ありがとうございました。
株式会社 エムアンドエーさま
株式会社 たくみ工芸さま
株式会社 商美さま
篠原工務店さま



クリスマス会

日時：2017年12月16日(土) 14:30~16:30

ボランティア：大阪経済大学の学生さん5名 ご家族：10名 子ども：11名

午前中はクッキングをして、クリームシチューを作り、子どもたちと学生さんたちとでおいしくいただきます！昼食後、リハーサルをしました。14時半、ご家族がやって来られ、いよいよ、クリスマス会スタートです。

最初に、子どもたちが一年間の報告をしました。写真を見ながら、それぞれが作った原稿を順番に読んで、一年を振り返りました。次に、子どもたちの発表会をしました。歌やダンスだけではなく、動物うんちくや国旗を見ての国名当てやポケモン紹介など、それぞれが得意なことを披露しました。話すことができない子どもは、絵カードを見て、コミュニケーションの道具を使って、その絵カードの物の名前を伝えることをしました。そして、みんなで歌を歌いました。これは、子どもたちが歌う歌を決めて練習してきたものです。曲名は「はなみずき」です。練習の時以上に上手に歌っていました。その後、会場の全員で、クリスマスソングを合唱しました。そして、大経大の学生さんが中心となって、会場の全員でジェスチャーゲームを楽しんで、最後に、4グループに分かれてケーキのデコレーションをしました。とても綺麗に飾りつけをして、みんなで「いただきます」。おいしかったです。子どもたちの笑顔を見ていると、「いい一年だったな、来年も充実した一年にしたいな」と思いました。

＜ボランティアの感想から＞

- ・みんな個々の得意なことや興味のあることを発表していました。自分もけん玉やニャンコスターのギャグを即興でやって楽しかったです。また、後輩が企画してくれたジェスチャーゲームも盛り上がって良かったです。
- ・今日は前回と違い、担当の子どもが決まっていなかったのが始めは不安でした。でも、子どもたちが自分から話しかけてくれたので嬉しかったです。反省点としては、午前中の外遊びの時に、ボールが前のお家の置物に当たって壊してしまったので、もっと注意しておくべきだったと反省しました。ジェスチャーゲームはグダグダしてしまいましたが、自分も楽しむことができました。これから、中心になって活動を進めなければいけないので、もっと子どもたちとの距離を縮めたいと思いました。



おおそうじ&お楽しみ

日時：2017年12月26日（火）10：00～17：00

ボランティア：大阪経済大学の学生さん13名 子ども：9名

毎年、冬休みに、ボランティアの学生さんたちにご協力いただき、みんなで楽童ほうふの大掃除をしています。昨年一昨年は大阪工業大学の学生さんがたくさん来てくださいました。今年は、大経大の学生さんたちが大勢で来てくださいました。おもちゃや本の整理をして、窓や棚を拭いて、外は水圧洗浄機で洗って、きれいになりました。お昼ご飯は、天ぷらそばを作って食べました。クッキングといっても、今回、蕎麦はスーパーで購入し、天ぷらは近くの干林商店街の天ぷら屋さんでかき揚げを作っていただきました。午前中は掃除で手いっぱいだったので、ネギを切って、蕎麦の袋を開けて、出汁を作っただけのクッキングです。人数が多くて後片付けは大変でしたが、学生さんたちが手伝ってくれました。お昼ご飯の後は、それぞれ、思い思いに、学生さんたちと自由遊びをして、14時半頃から男女に分かれて活動をしました。男子は、近くの銭湯へ行きました。もちろん、

男子学生さんたちも一緒です。ゆっくりお風呂であったまり、冷たいおやつを食べてきました。女子は、商店街の外れのオシャレなカフェに行き、ワッフルと飲み物でティータイムをしました。こちらも女子学生さんたちが一緒です。お店の方が、休憩タイムに貸し切りで入れてくださいました。たくさんの種類のワッフルで、メニューを見て楽しく迷いながら選びました。ちょっと大人に近づいた気持ちになってくれたかな。

<ボランティアの感想から>

- ・今日は子どもより学生の方が多くて、子どもたちもすごく楽しそうでした。大掃除では初めはすごく嫌そうにしていたけれど、一人ひとりにやってほしいことを頼んだら進んでやってくれたのでよかったです。今回で3回目だったけど、子どもたちが名前を覚えてくれていたのでうれしかったです。車イスの操作があまりわからなかったのですが、きちんとサポートできるように学んでいきたいです。
- ・今日は女子のボランティアがとても多くていつもと違う感じでした。銭湯ではみんなルールを守り、お風呂を楽しんでいたのがよかったです。
- ・窓ふきをしたり、子どもとネギを切ったりしました。カフェに行ったり遊んだりして子どもたちと触れ合うことができとても良かったです。子どもたちの元気さにとっても癒されました。



去年は、本当にいろんなことがありました。ピンチはチャンス。子育ての中で大変なことがあるたびに、そう思ってきました。そもそも、出産の時にピンチ、でも、それが新たな人生が始まるチャンスでした。ピンチは変化のチャンス、出会いのチャンス、一歩を踏み出すチャンス。うまくチャンスに乗れなくても、だいじょうぶ、明日はきっとやってくる。じっと堪えて春を待つ木々を見上げ、いろんなことありの人生と思って歩いて行きましょう。

インフルエンザが流行っています。くれぐれも気をつけてください。

